

## 令和4年度資金収支当初予算について

### 1 令和4年度資金収支当初予算の概要

#### (1) 法人の経営状況について

令和4年度は、法人の第六期中期計画の初年度であり、計画に掲げる施策を着実に実施すると同時に、その施策を実施するための安定した経営基盤を築いていくことが重要な年度となる。

秦野精華園と希望の丘はだのは、組織を再編して2施設での運営を開始してから3年目を迎える。秦野精華園は、民営化により指定管理料等の収入が大幅に減少して厳しい経営が続いているが、定員の充足により収入面で一定の見通しが立つようになった。今後は、人員配置や加算の見直し、経費節減等の努力により、更なる経営改善に取り組んでいく。

一方、希望の丘はだのは、施設の開所から2年が経過したが、開所時からの入所定員不充足の状態が現在も続いており、利用率の向上と収入の確保が大きな課題となっている。この課題の解決のため、サービス提供体制や算定する加算等を見直し、秦野精華園と併せて3年計画で経営改善に向けて取り組んでいく。

厚木精華園は、第2期指定管理期間の7年目を迎える。入所者の高齢化が一段と進み、利用者の入院等が増えることによる利用率の低下が常態化していることに加え、令和2年度から3年度にかけては新型コロナウイルス感染症の影響で通所サービスの利用を一時閉鎖したこと等により、本体施設の生活介護の利用率も低下したため大幅な減収となった。こうした状況の中、新年度においてもいかに収入を確保していくかが大きな課題となっている。

愛名やまゆり園は、厚木精華園と同じく第2期指定管理の7年目を迎える。愛名やまゆり園においても特に短期入所事業において、令和2年度から3年度にかけて新型コロナウイルス感染症の影響で大幅な減収となり、新年度においても同様の状況が予想される。他方、本体施設の施設入所支援等のサービスについては、定員が充足しており新年度も安定した経営が継続できる見通しとなっている。愛名やまゆり園が展開する自主事業については、特に、愛川町児童発達支援事業は利用者の確保が困難な状況にあり、新年度は大幅な減収となることが見込まれる。また、利用者が年々減少傾向にある飯山地区日中活動支援センターで実施する放課後等デイサービス事業について、新年度から日中一時支援事業にサービスを変更し、新たな事業運営に取り組むこととした。

津久井やまゆり園と芹が谷やまゆり園は、令和3年8月に2つの施設に分かれて運営を開始したが、それぞれの園が単独で一事業年度の施設運営を行うのは令和4年度が初年度となる。津久井やまゆり園・芹が谷やまゆり園ともに開所時は定員が充足せず、また職員も欠員の状況にあり、収支が不透明で不安を抱きながら運営を開始したが、新施設に移転後、津久井やまゆり園は約8ヶ月、芹が谷やまゆり園は約4ヶ月が経過し、その間の利用者定員の充足状況、職員体制又は新施設の維持管理の状況等から両施設の執行状況の分析を行い、安定経営に向けて取り組んできている。新年度においても経営状況の把握に努め、より安定した施設経営ができるよう改善を図っていく。

こうした各園・施設の経営状況を踏まえた令和4年度当初予算（案）は、法人全体の収

支差額が1,182万円（ただし、人件費積立金取崩額3,500万円を除く法人全体の収支差額はマイナス2,317万円）となり、令和3年度当初予算の大幅な歳出超過からは回復傾向にあるものの赤字解消までには至らず、厳しい予算編成となった。

こうした状況を改善するため、令和4年度は、利用者の確保、算定可能な加算の取得等収入の確保に最大限取り組み、併せて、人件費・事業費・事務費等の抑制に努め、より効率的・安定的な施設経営に向けて法人全体で取り組んでいく。

<予算の全体額>

(単位：千円)

	拠点区分	令和3年度最終予算額	令和4年度当初予算額	増減
収入	法人本部	154,597	155,597	1,000
		( 134,597 )	( 120,597 )	( △ 14,000 )
	秦野精華園	566,669	529,121	△ 37,548
		( 546,669 )		( △ 17,548 )
	希望の丘はだの	638,213	603,607	△ 34,606
			( 568,607 )	( △ 69,606 )
	厚木精華園	807,828	853,773	45,945
	厚木地区事業	217,045	223,124	6,079
	愛名やまゆり園	1,049,456	1,050,110	654
	愛名地区事業	429,551	387,273	△ 42,278
津久井やまゆり園	746,049	698,276	△ 47,773	
津久井地区事業	325,487	316,370	△ 9,117	
芹が谷やまゆり園	445,568	713,423	267,855	
計	5,380,463	5,530,674	150,211	
	( 5,340,463 )	( 5,460,674 )	( △ 120,211 )	
支出	法人本部	157,683	155,447	△ 2,236
		( 137,683 )	( 120,447 )	( △ 17,236 )
	秦野精華園	567,599	562,516	△ 5,083
	希望の丘はだの	675,758	592,536	△ 83,222
	厚木精華園	831,329	852,291	20,962
	厚木地区事業	210,942	214,373	3,431
	愛名やまゆり園	1,005,764	1,042,320	36,556
	愛名地区事業	428,314	421,145	△ 7,169
	津久井やまゆり園	802,446	687,146	△ 115,300
	津久井地区事業	315,399	310,322	△ 5,077
芹が谷やまゆり園	435,332	680,752	245,420	
計	5,430,566	5,518,848	88,282	
	( 5,410,566 )	( 5,483,848 )	( △ 73,282 )	
収支差額	法人本部	△ 3,086	150	3,236
		( △ 3,086 )	( 150 )	( 3,236 )
	秦野精華園	△ 930	△ 33,395	△ 32,465
		( △ 20,930 )		( △ 12,465 )
	希望の丘はだの	△ 37,545	11,071	48,616
			( △ 23,929 )	( 13,616 )
	厚木精華園	△ 23,501	1,482	24,983
	厚木地区事業	6,103	8,751	2,648
	愛名やまゆり園	43,692	7,790	△ 35,902
	愛名地区事業	1,237	△ 33,872	△ 35,109
津久井やまゆり園	△ 56,397	11,130	67,527	
津久井地区事業	10,088	6,048	△ 4,040	
芹が谷やまゆり園	10,236	32,671	22,435	
計	△ 50,103	11,826	61,929	
	( △ 70,103 )	( △ 23,174 )	( △ 46,929 )	

※下段カッコ内は人件費積立金の取崩し及びその資金の繰入れを除いた額

※収支差額欄の当初予算額は予備費を含む

## (2) 収入について

令和4年度当初予算において、収入では、「障害福祉サービス等事業収入」が前年度予算額から2億6,343万円の増となった。この予算増の主な要因は、令和3年8月から津久井やまゆり園と2施設に分かれて運営を開始した芹が谷やまゆり園の自立支援給付費や指定管理料等の予算が、前年度の8か月分から12か月分の計上となったことによるものである。この他、厚木精華園及び厚木地区事業において利用率の増を見込み、予算を大幅に増額した。

他方、愛名地区事業においては、グループホーム及び愛川町事業（生活介護及び児童発達支援）に前年度実績からの利用減が見込まれ、予算を大幅に減額した。

<収入予算の内訳>

(単位:千円)

	勘定科目	令和3年度最終予算額	令和4年度当初予算額	増減
事業活動	就労支援事業収入	52,337	50,076	△ 2,261
	障害福祉サービス等事業収入	4,793,123	5,056,561	263,438
	医療事業収入	79,575	94,343	14,768
	経常経費寄附金収入	6,209	2,820	△ 3,389
	受取利息配当金収入	4	4	0
	その他の収入	44,125	40,192	△ 3,933
	計	4,975,373	5,243,996	268,623
施設整備等	施設整備等補助金収入	2,101	350	△ 1,751
	固定資産売却収入	605	0	△ 605
	その他の施設整備等による収入	15	0	△ 15
	計	2,721	350	△ 2,371
その他の活動	退職給付引当資産取崩収入	23,795	23,795	0
	人件費積立資産取崩収入	20,000	35,000	15,000
		( 0 )	( 0 )	( 0 )
	備品等購入積立資産取崩収入	12,420	2,500	△ 9,920
	設備等整備積立資産取崩収入	5,000	5,000	0
	津久井再生寄附金積立資産取崩収入	21,378	0	△ 21,378
	拠点区分間繰入金収入	167,689	155,000	△ 12,689
		( 147,689 )	( 120,000 )	( △ 27,689 )
	サービス区分間繰入金収入	151,000	59,533	△ 91,467
	その他の活動による収入	1,087	5,500	4,413
計	402,369	286,328	△ 116,041	
	( 362,369 )	( 216,328 )	( △ 146,041 )	
収入合計	5,380,463	5,530,674	150,211	
	( 5,340,463 )	( 5,460,674 )	( 120,211 )	

※下段カッコ内は人件費積立金の取崩し及びその資金の繰入れを除いた額

### ○障害福祉サービス等事業収入 50億5,656万円（前年度予算額比 +2億6,343万円）

- ・介護給付費等増（厚木精華園 +5,575万円、厚木地区 +1,119万円、芹が谷やまゆり園 +1億7,856万円）
- ・介護給付費等減（秦野精華園 △1,012万円、愛名地区 △2,997万円、津久井やまゆり園 △2,953万円、津久井地区 △1,106万円）
- ・指定管理料増（芹が谷やまゆり園 +9,287万円）
- ・福祉・介護職員処遇改善臨時特例交付金(4～9月分) 増 +2,746万円 ※介護給付費等を含む

### ○人件費積立資産取崩収入 3,500万円（前年度予算額比 +1,500万円）

- ・希望の丘はだの拠点人件費充当分 3,500万円

### (3) 支出について

支出については、芹が谷やまゆり園の人件費予算が、収入と同様に8か月分から12か月分となったことにより大幅な予算増となった。また、福祉・介護職員処遇改善臨時特例交付金に係る賃金改善（6ヶ月分）の予算計上や、事業費・事務費において教養娯楽費、水道光熱費、研修研究費等が大幅な予算増となった。

他方、建物の修繕や車両取得等の施設整備に係る予算（「固定資産取得支出」及び「その他の活動による支出（固定資産県移管支出）」）を前年度から大幅に減額した。

<支出予算の内訳>

(単位：千円)

	勘定科目	令和3年度最終予算額	令和4年度当初予算額	増減
事業活動	人件費支出	3,524,106	3,782,996	258,890
	事業費支出	579,689	601,899	22,210
	事務費支出	815,538	774,034	△ 41,504
	就労支援事業支出	50,405	50,077	△ 328
	その他の支出	26,583	25,902	△ 681
	計	4,996,321	5,234,908	238,587
施設整備等	固定資産取得支出	28,510	9,250	△ 19,260
	ファイナンス・リース債務の返済支出	10,833	11,235	402
	計	39,343	20,485	△ 18,858
その他の活動	退職給付引当資産支出	42,471	43,970	1,499
	備品等購入積立資産支出	5,000	0	△ 5,000
	拠点区分間繰入金支出	167,689	155,000	△ 12,689
	サービス区分間繰入金支出	( 147,689 )	( 120,000 )	( △ 27,689 )
	その他の活動による支出	151,000	59,533	△ 91,467
	計	28,742	4,952	△ 23,790
	計	394,902	263,455	△ 131,447
		( 374,902 )	( 228,455 )	( △ 146,447 )
支出合計		5,430,566	5,518,848	88,282
		( 5,410,566 )	( 5,483,848 )	( 73,282 )

※下段カッコ内は人件費積立金の取崩しに係る資金の繰入れを除いた額

○人件費支出 37億8,299万円 (前年度予算額比 +2億5,889万円)

- ・芹が谷やまゆりの1年分の人件費予算計上(前年度は8ヶ月分)による増 +2億910万円 他
- ・福祉・介護職員処遇改善臨時特例交付金による賃金改善分(4~9月分)増 +2,746万円

○事業費支出 6億189万円 (前年度予算額比 +2,221万円)

- ・教養娯楽費 +500万円、水道光熱費 +2,465万円、消耗器具備品費 △1,254万円 他

○事務費支出 7億7,403万円 (前年度予算額比 △4,150万円)

- ・研修研究費 +657万円、修繕費 △2,724万円、業務委託費 △1,511万円 他

○固定資産取得支出 925万円 (前年度予算額比 △1,926万円)

- ・車両取得費 △447万円、器具備品取得費 △772万円、ソフトウェア取得費 △763万円 他

○その他の活動による支出 495万円 (前年度予算額比 △2,379万円)

- ・固定資産県移管支出 △2,079万円 他

#### (4) 収支差額について

令和4年度当初予算（案）における法人全体の収支差額（予備費を含む）は、令和3年度最終予算の収支差額 マイナス5,010万円 から6,192万円増の1,182万円 となった。ただし、人件費積立金の取崩しを除く単年度の収支の比較では、令和3年度最終予算の収支差額 マイナス7,010万円から4,692万円増の マイナス2,317万円となり、前年度からは回復傾向にあるものの、厳しい予算編成となった。

<指定管理事業・自主事業別収支予算額>

(単位：千円)

		拠点区分	令和3年度最終予算額	令和4年度当初予算額	増減
指定管理事業	収入	厚木精華園	807,828	853,773	45,945
		愛名やまゆり園	1,049,456	1,050,110	654
		津久井やまゆり園	746,049	698,276	△ 47,773
		芹が谷やまゆり園	445,568	713,423	267,855
		計	3,048,901	3,315,582	266,681
	支出	厚木精華園	831,329	852,291	20,962
		愛名やまゆり園	1,005,764	1,042,320	36,556
		津久井やまゆり園	802,446	687,146	△ 115,300
		芹が谷やまゆり園	435,332	680,752	245,420
	計	3,074,871	3,262,509	187,638	
	収支差額	厚木精華園	△ 23,501	1,482	24,983
		愛名やまゆり園	43,692	7,790	△ 35,902
津久井やまゆり園		△ 56,397	11,130	67,527	
芹が谷やまゆり園		10,236	32,671	22,435	
計		△ 25,970	53,073	79,043	
自主事業	収入	法人本部	154,597	155,597	1,000
		( 134,597 )	( 120,597 )	△ 14,000	
		秦野精華園	566,669	529,121	△ 37,548
		( 546,669 )		△ 17,548	
		希望の丘はだの	638,213	603,607	△ 34,606
		( 568,607 )		△ 69,606	
		厚木地区事業	217,045	223,124	6,079
		愛名地区事業	429,551	387,273	△ 42,278
	津久井地区事業	325,487	316,370	△ 9,117	
	計	2,331,562	2,215,092	△ 116,470	
	( 2,291,562 )	( 2,145,092 )	( △ 146,470 )		
	支出	法人本部	157,683	155,447	△ 2,236
		( 137,683 )	( 120,447 )	△ 17,236	
		秦野精華園	567,599	562,516	△ 5,083
		希望の丘はだの	675,758	592,536	△ 83,222
		厚木地区事業	210,942	214,373	3,431
		愛名地区事業	428,314	421,145	△ 7,169
		津久井地区事業	315,399	310,322	△ 5,077
	計	2,355,695	2,256,339	△ 99,356	
	( 2,335,695 )	( 2,221,339 )	( △ 114,356 )		
	収支差額	法人本部	△ 3,086	150	3,236
		( △ 3,086 )	( 150 )	3,236	
		秦野精華園	△ 930	△ 33,395	△ 32,465
		( △ 20,930 )		20,930	
希望の丘はだの		△ 37,545	11,071	48,616	
( △ 23,929 )					
厚木地区事業		6,103	8,751	2,648	
愛名地区事業	1,237	△ 33,872	△ 35,109		
津久井地区事業	10,088	6,048	△ 4,040		
計	△ 24,133	△ 41,247	△ 17,114		
( △ 44,133 )	( △ 76,247 )	( △ 32,114 )			
法人合計	収入	5,380,463	5,530,674	150,211	
	( 5,340,463 )	( 5,460,674 )	( 120,211 )		
	支出	5,430,566	5,518,848	88,282	
( 5,410,566 )	( 5,483,848 )	( 73,282 )			
収支差額	△ 50,103	11,826	61,929		
( △ 70,103 )	( △ 23,174 )	( 46,929 )			

※下段カッコ内は人件費積立金の取崩し及びその資金の繰入れを除いた額

※収支差額欄の当初予算額は予備費を含む

